

令和7年度 第2回厚木市地域公共交通会議 概要

開催日時	令和8年3月19日（木）午後2時00分～3時00分
開催場所	厚木市役所第二庁舎 16階 会議室B
出席委員数	14人（全16人中）
傍聴者数	0人
会議の経過	<p>1 開会 事務局</p> <p>2 あいさつ 会長</p> <p>3 報告 (1) シェアサイクルについて ≪資料に基づき事務局が説明≫ 【内容】 昨年10月6日にシェアサイクルの実証実験の協定を締結し、令和10年9月30日までの3年間で実証実験を実施する。 現状では、朝と夕方の通勤時間帯の利用が全体と比べると多くなっており、2km以内の移動や30分以内の移動が多く、ちょい乗りで活用している人が多いことが確認できた。 今後も利用が増えるよう、業者と協議しながらステーションを増やしていく。 【主な意見】 (委員) ステーションを増やす目標などはあるのか。 (事務局) 設置数などの目標値はないが、現在は駅周辺の設置にとどまっているため、森の里や上依知のほうまで設置できたらと考えている。</p> <p>4 議題 (1) 鳶尾、まつかげ台・みはる野地域コミュニティ交通「ココモ」の状況について … 【承認】 ≪資料に基づき事務局が説明≫ 【内容】 令和7年度1月末現在の現状について、全ルート1日当たりの平均利用者人数は21.2人、鳶尾ルートは20.3人、まつかげ台・みはる野ルートは、22.0人という結果となり、それぞれ、目標値である1日当た</p>

り 20 人を達成している。

ココモの運賃は、運行開始当初から高齢者の利用を見据え、かなちゃん手形の 1 乗車 100 円に合わせた運賃で運行していたが、かなちゃん手形の廃止や昨今の社会情勢を背景とした燃料費や運行経費等の高騰、受益者負担の見直し、そして今後のコミュニティ交通導入地域における運賃の基準としても展開可能な運賃設定をする必要があるため、令和 8 年度中の運賃改定を検討していく。

改正後の運賃は、現在の路線バスの初乗り運賃 210 円を基準とし、1 乗車 200 円への値上げを考えている。

時期としては、令和 8 年 10 月からを予定。

【主な意見】

(委員)

運賃改定に伴う影響などの分析はしているのか。

(事務局)

分析は行っていないが、運営協議会へ報告したところ、「しょうがないのでは」というような反応で納得いただいている。

(2) 森の里地区コミュニティ交通「森の里ぐるっと」の令和 8 年度運行計画等について …【承認】

《資料に基づき事務局が説明》

【内容】

令和 7 年度の現状について、今年度の利用者数の目標は年間 4,560 人で、ひと月当たり 380 人を設定しているが、1 月末現在で利用者数は合計 4,468 人となっており、月ごとでの利用者数を見ると、目標値を超えている状況である。

令和 8 年度の運行予定について、運行日は、155 日 1,240 便を予定しており加えて臨時便の運行を 14 日 87 便を予定している。

臨時便については、通常運行日以外で地域のイベント等に運行する。

運行ルートについて、森の里 2 丁目及び 5 丁目の一部ルートは、利用者がほぼいないことから廃止する。

それに伴い乗合 5 丁目停留所を廃止し、時刻表からも削除し変更する。

運行ルート及び時刻表の変更は 4 月 1 日から。

【主な意見】

(委員)

来年度の目標値は決まっているのか。

(事務局)

まだ決まっていないが、今年度より増やして目標設定する予定。

(委員)

運賃が無料だが、他の地域から何か言われることはあるか。

(事務局)

森の里に関しては地域住民が積極的に動いてくださり今まで運行できているところである。

現状、無料でできているのは、住民がドライバーをしているためであり、そういった人員が集まる地域でないと運営するのは難しい状況である。

このような事例は全国的にも珍しく、全国から視察に来ている状況だが、他の地区でやっていけるかという、なかなか難しいと思われる。

(3) 宮の里地区・上依知周辺地域におけるコミュニティ交通の取り組みについて …【承認】

《資料に基づき事務局が説明》

【内容】

それぞれの地区で計5回の勉強会を実施。

宮の里地区では、勉強会を経て、コミュニティ交通導入意欲が特に高い住民同士が話し合い、令和7年12月に運営協議会の設立した。

現在、令和8年度に、ココモと同様の定時定路線型のコミュニティバスの実証実験に向けて、運行ルートや運行時刻といった、運行計画案の作成に取り組んでいる。

上依知周辺地域では、Moplus 株式会社および日産自動車株式会社とともに、令和8年度にデマンド運行システムの実証実験の実施を目指していく。

また、上依知周辺地域でも運営協議会の設立ができるよう取り組んでいる。

どちらの地域も令和8年10月から実証実験を実施する予定。

運賃は、宮の里地区の定時定路線型は200円、上依知周辺地域のデマンド運行システムは500円を予定している。

【主な意見】

(委員)

上依知の運賃が500円と高いがその理由は何か。

(事務局)

バスのエリア内の区間での運賃が290円となっており、タクシーの呼び出しと初乗りの運賃が500円×2で1000円、その間を取って500

円と設定している。また、デマンド運行システムは、乗降スポットを多数置くために、定時定路線型のコミュニティ交通より家の付近で乗降できる可能性があるため、そういった利便性を考えて運賃が高くなっている。

5 その他

(神奈川中央交通)

4月4日に運賃改定を行い、初乗り運賃が210円から230円になる。

また、以前会議で承認いただいた松蓮寺～愛甲石田線については、3月29日の運行を持って終了となる。

年明けからバス停掲示やバスの車内で案内させていただいているが、お客様からの問い合わせ等はほぼない状況。

6 閉会 事務局